

R05年度学校関係者評価(高校)

学校評価(高等学校)

教育目標(誠実な人間、良き社会人の育成)

評価項目	評価内容	自己評価		学校関係者評価	
		評価点	学校としての反省・改善策	評価点	意見等
1	本校の教育目標「誠実な人・よき社会人の育成」「清い心・たゆまぬ努力」を達成するための取組みができています。	A	高校入学直後に卒業後の進路目標を設定する時から、即物的な価値観で選択するのではなく、学園の教育目標に沿った目標をめざすよう導いている。また全教員がその姿が生きたモデルとなるよう努めている。	A	・自己評価に同意
2	本校はカトリック学校として全ての教育活動を通じ、その使命を果たしている。	A	イエス・キリストの隣人愛の教えを根幹に置き、生徒の発達段階や時代の変化に適切に対応する宗教行事や宗教教育を行った。「宗教」の授業のみならず、学校長や宗教部の教員が担当する朝礼の話や毎日の朝のHRにおいても担任が折に触れ、キリスト教的価値観の育成に努めている。入学以来ほとんどの生徒が、祈ることの大切さや他者のために生きるという価値観を理解して、卒業を迎えることができています。	A	・自己評価に同意
3	本校の教育課程は教育目標を達成するために、適切な工夫がされている。	A	新学習指導要領への移行はスムーズに進んでいる。ソフィアコースのIB(国際バカロレア)DP(ディプロマプログラム)も教員間に浸透し、本格始動した。エグゼコース、フロンティアコースも特色を活かした教育課程を実行できている。	A	・3人の子供がそれぞれ3コースに分かれたが、それぞれに特色があり親身になって接していただいた。
4	本校では生徒の努力の結果を正当に評価し、公正な単位認定が行われている。	A	新学習指導要領の移行に伴い、高校2年次まで観点別評価が導入された。教員間で情報の共有をはかり、公正で正確な評価がなされている。	A	・自己評価に同意
5	本校では落ち着いた環境で生徒の学力をのばすための授業が行われている。	A	年に2度の授業アンケートを実施し、生徒の声を聞き、改善の必要が感じられることがあれば小さなことでも無視せず、迅速な対応を心掛けた。 すべての教科においてICT教育が進み、座学よりもコミュニケーションをとりながら自発的な考えを促すような授業スタイルへの転換が進んでいる。	A	・自己評価に同意
6	教員の資質向上のため、授業研修や校内研修等が適切に行われている。	A	年間を通して計画的に研修を行うことができた。コースごとにテーマを設定した授業案を検討して実施し、徹底してふり返る、という研修を年に2回行った。また静岡サレジオならではの幼小中高の垣根を超えた授業見学や研究授業を通して、教員の研鑽を積むことができた。	A	・自己評価に同意
7	本校では、学級活動や個別面談などを通じ生徒・保護者の意見が掌握されている。	A	学級及び教科の担任、部活の顧問が綿密にコミュニケーションをとり、生徒、保護者の意見掌握に努めている。問題の大小にかかわらず、保護者への連絡を怠らず、家庭との連携がとれている。また情報は学年主任から管理職へと順次共有し、適切に対応している。	A	・自己評価に同意
8	生徒を正しく導くために教師が共通理解をもち、生活指導に取り組んでいる。	A	ドン・ボスコの予防教育法を念頭に、生徒一人ひとりが愛されていると納得できるように丁寧な指導を心がけている。頭髪や所持品などの決まりに関しては、生徒指導担当者だけでなく、教頭も生徒会役員と話し合う場を設けて生徒達からの意見や要望を聞き、改善に向けて検討中である。昼の生徒会放送の時間には生徒指導担当者が生徒会役員を通して生徒からの質問に答えるなどとして、相互理解に努めている。	A	・自己評価に同意
9	生徒の進路達成のために、適切な指導と学力養成が行われている。	A	全教員が3コースに分かれ、毎月のコース別会議で情報共有に努めながら指導にあたっている。高校3年次になってからではなく、高校入学直後から希望進路の把握を心がけ、学級担任以外の全教員で一人ひとりに合った進路アドバイスができるようになっている。学校推薦型選抜や総合型選抜を利用した受験の希望者には、本校卒業生が高校3年次に実施したエントリーのためのプレゼンテーションを視聴し、下級生に数年後の見通しを持たせた。指定校推薦枠の一層の拡大にも努めながら、手厚い進路保障を可能にしている。	A	・外部から入学された生徒さんから、メンター制度がある(広報資料にも記載されている。)とのことで期待したが、特に相談や指導がなかったと。3年だけの方針なのか、こ質問されたことがあります。
10	生徒の健康・安全を守るために、通学・防犯・保健の適切な指導や施設管理が行われている。	A	登下校の時間帯、毎日南門に守衛を配置し、カレッジの教員も毎朝校門に立って生徒の安全を見守りつつ、交通安全指導に努めている。校内各所の照明のLED化、人感センサー付き照明の設置も進み、日没後の危険性も解消された。長期休暇中には全教職員が消火活動訓練や救命講習を受けた。全校の児童生徒による防災訓練も、コロナ禍に簡略化されていたが復活した。全校生が教室に備えてきた防災頭巾は、新入生から、より防災機能のあるヘルメットを常備させるようにした。夏季の熱中症対策にも配慮し、球技大会は空調設備の整った「このはなアリーナ」で実施した。ほかにも体育館に大型扇風機を増設したり、体育行事での救護体制の充実をはかったりした。	A	・自己評価に同意
11	教職員がそれぞれの職務や担当する役割に対し、責任を持って取り組んでいる。	A	各分掌の部長、主任のもと、全教員が協力する体制ができている。本校への着任早々の学級担任もいたが、経験豊富な教員を中心に進路指導や生活指導、学年行事の運営がスムーズにできた。学年だけでなくコース別のタテの連携もより強まり、コースごとの特長をより伸ばすべく一人ひとりの教員の自覚も高まっている。	A	・自己評価に同意

R05年度学校関係者評価(高校)

12	行事運営	校内外で行われる学校行事は教育目標に照らして十分にその役割を果たしている。	A	いずれもサレジオ精神に基づいて運営された。コロナ禍で滞っていた宿泊を伴う研修旅行も十分な感染対策のもと実施され、他者を思いやりながら協力する心を養いつつ、広く社会に目を向けることができた。サレジオ祭は1日目に生徒だけで舞台発表を鑑賞し、2日目には他のステージの園児・児童、保護者、同窓生とともに新しいスタイルでの展示や販売ができるようになり、皆でやりがいや達成感を味わえた。ドン・ボスコが推奨した思い切りからだを動かす体育行事のうち体育祭は、コロナ禍の落ち着きにもなまって保護者の観覧も可能になり、大いに盛り上がった。高校2年次で行く沖繩研修旅行では民泊が復活し、生徒たちにも大変好評であった。フロンティアコースでは研修旅行を通じた学びをプレゼンテーションとして発表し、全国大会への進出を果たすべしと、喜ばしい限りである。伝統的な宗教行事も生徒主体の新しいアイデアが盛り込まれるようになり、生徒も教員も一体となって作り上げる行事ができるようになってきていることが感じられる。12月には生徒会主催の初の試みとして、クリスマスを中心にプロジェクトマッピングも実施され、カレッジ生の大きな喜びになっただけでなく、プライマリーやミドルの生徒、保護者にも喜ばれた。	A	・自己評価に同意
13	管理運営	学校組織の管理運営系統が明確で、役割分担や協力体制が整っている。	A	学校長、教頭、各校務分掌長、学年主任、教科主任、学年・教科担任と、それぞれのレベルでの管理運営ができています。相互に報告、連絡、相談を密に行い、齟齬がないように心がけている。	A	
14	施設・設備	本校の施設、設備は生徒が生活する上で快適な環境として管理・整備されている。	B	4号館をソフィアコースが主として使うソフィア棟にするべく、大掛かりな改修工事を行った。従来型の黒板を廃して広々としたホワイトボードを設置し、床をカーペットにすることで、以前にも増してIB教育にふさわしい自由な発想が生まれやすい環境が整った。各教室のエアコンは夏季・冬季の使用前には事前に運転動作の確認を行うことで、急な不具合への備えができるようにした。またエアコンの清掃は定期的、トイレは日常的に専門業者が清掃に入ることで、清潔に保たれるようになっている。従来からの検温や消毒といったコロナ対策に加え、換気改善のため全教室にサーキュレーターを設置した。加えて多人数が集中するカフェテリアやオープンルームには空気清浄機を新たに設置した。教室のすべての机に「天板拡張くん」取り付けしたので、教材を置きやすくなり、Chromebookの落下の心配もなくなった。一方でまだ校舎の老朽化によって、窓枠やブラインドの不具合も絶えず発生するので、頻りに点検や目配りをしながら、より快適な環境が提供できるよう努力している。	B	・ソフィア棟のトイレに鏡が無いので設置して欲しいと思います。 ・教室ではありませんが、移動の際にローカに雨漏りがあり水溜りになることがある。カビ等が発生し健康的に大丈夫か気になります。しかし、他の整備も少しずつ改善されてますから今後も整備が進むことを期待します。
15	課外活動	放課後の部活動や生徒会活動を通じ、教師が常に生徒と「共にいる」よう努めている。	A	ドン・ボスコの教育法であるアシステンツァ(共にいる)の精神をすべての教職員が意識して、放課後の活動に従事している。部活やサレジオメンソ、検定取得を目指す講座はもちろんなこと、地域の方々と行政、企業と連携しての活動が一層活発になっている。休日に指導にあたった教員の振替休日も取得しやすくなってきていたので、教員の負担を軽減しながら喜びを持って生徒と接する時間を今後も増やしていきたい。	A	・近頃、学校の部活動のあり方が問題になっています。そのような中でも、テニス部をはじめ、サレジオの先生方にはとても熱心にて頂き、学校生活においてどれだけ子供のために働いてくださるかわかりません。これからも先生方の無理のない程度にお力になって頂けたらと思います。感謝申し上げます。
	全般、総合評価		A	進学実績の向上に伴って内外からの評価が高まり、教職員も生徒も、自信とともに一層の向上心が見られる。アメリカ研修や米国UCDivisへの短期留学、サマーイングリッシュプログラムなどの国際交流も復活し、ボランティア活動も増え、保護者の理解もあってコロナ以前にも増して多くの生徒がさまざまな活動に参加できている。指定強化部となっている陸上、女子バレー、男子テニスをはじめさまざまな運動部の活動も活発になって好成績を上げ、検定の取得や文化活動の表彰も目覚ましいものがある。同時に、宗教の授業や行事を通じた心の教育も揺るぐことなく、大規模災害発生時には、街頭募金などで他者のために活動したいという生徒からのボランティアの提案も多い。年を追うごとに、生徒たちはサレジオンとしての誇りをもって勉強にも課外活動にも意欲的に励むようになり、教職員もサレジオで教鞭をとっているという責任と喜びを感じながらともに過ごせるようになっている。奢ることなく、弛むことなく、これからも教職員一同、生徒たちと共に成長していきたい。	A	・いつも臨機応変、非常に素晴らしい対応をいただいています。感謝しかありません。 ・コロナ以降いろいろな活動を通して生徒が大きく成長している姿が見られ、皆様のご尽力の結果だと感謝しています。学習面でも運動の面においても生徒の活躍ぶりに感激です。皆様もお感じになっているようにこのころの教育にもこれからののお励みくださいますようお願いいたします。

【評価点】

- A: 十分に成果があった
- B: 成果があった
- C: 少し成果があった
- D: 成果がなかった

【評価点】

- A: 十分に成果があった
- B: 成果があった
- C: 少し成果があった
- D: 成果がなかった

今後に向けての考え方(学校関係者評価を受けて)

学校の取り組みに対してあたたかいご理解とご協力をいただき、大変ありがたく思います。進路指導における、外部からの入学生のメンター制度に対するご期待に沿えなかった点につきましては説明の不足を大いに反省しております。実態としては、エグゼコースが2クラスになってからも従来と変わらず、他のコースも含めて生徒一人ひとりに目配りをし、進路希望に応じた個別の相談指導を頻りに進めております。「メンター制度」という呼称をもって生徒たちに説明することがなかったため不安に感じさせてしまったことを省み、今後は齟齬のないよう努めてまいります。進学実績の伸びのみならず、生徒たちの多方面での活躍が校内外で高く評価していただけるようになり、在校生はもちろんのこと、卒業した同窓生もそれを喜び、母校を誇らしく思っているの声を聞かせております。在校生たちは先輩のがんばりに刺激を受け、種々の検定へも今まで以上に果敢に挑戦するようになってきました。とりわけ実用英語技能検定におきましては、2023年度だけで1級に2名、準1級に19名という合格者を出し、着実に実力が伸びていることが感じられます。とは言え、そうした生徒たちの取り組みには教材費や検定料、参加費などにおける保護者の理解やご協力があったことと、生徒達のやる気と保護者様の期待を損なうことが無いよう、学校としてしましても学習環境のさらなる改善、メソッド・部活のための設備の充実を図っている所存です。もちろん聖ヨハネ・ボスコ以来の「予防教育法」に基づくサレジオの特長である、きめ細やかな目配りや、生徒に寄り添う教職員の姿勢も大切にまいります。ようやくコロナを過大意識することない行事運営が可能になり、サレジオ祭や体育祭のほか、公開授業週間の授業参観にも保護者の皆様も足を運んでいただけるようになりました。お時間の許す限り、お子様方ご実際のようすをご覧いただき、お気づきの点があれば忌憚のないご意見と同時に励ましのお言葉もいただければ幸いです。